

食の文化シンポジウム2019

「国民料理」の形成とその展開～フランス料理と日本料理の比較を通して～

◆主催：公益財団法人 味の素食の文化センター

◆日時：2019年11月9日(土)13:30～16:30 (13:00開場)

◆場所：味の素グループ高輪研修センター
〒108-0074 東京都港区高輪 3-13-65
都営地下鉄浅草線 高輪台駅 A1出口(徒歩3分)
JR品川駅 高輪口(徒歩15分)

◆定員：90名(参加無料、事前申し込み必要)

「国民料理」なるものは、いつ、どのようにして生まれたのか？ それはやがて「世界料理」として一つになっていくのか？ 本シンポジウムでは、世界の料理の中からフランス料理と日本料理をとりあげ、国民料理の形成過程や、料理の文法とその境界などをお話しいただく。続くトークセッションでは、「国民料理」という視点から、日仏の料理を比較し、その形成過程と今後の進むべき方向について議論を展開したい。

【プログラム】

- ☆趣旨説明 「国民料理」という視点から見えてくるもの
西澤治彦(武蔵大学 人文学部 教授)
- ☆講演1 「フランス料理」における国民的アイデンティティの形成
橋本周子(滋賀県立大学 人間文化学部 講師)
- ☆講演2 日本料理の「文法」と境界線の拡大
高橋拓児(京料理 木乃婦 代表取締役)

◆申し込み方法：

下記のE-mailアドレスに ①お名前(漢字・フリガナ) ②ご職業 ③電話番号を明記のうえ、メールを送信下さい。複数名でご参加の場合には全員の①②をお知らせください。

⇒ e-mail: shoku-sympo2019@ajinomoto.com

※申し込み〆切：10月11日(金)

*定員になり次第、締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

◆お問い合わせ先：

公益財団法人 味の素食の文化センター
TEL:03-5488-7318 FAX:03-3445-7965
メールでのお問い合わせ toiawase_asb@ajinomoto.com